

別記様式1別添

「飼料用米多収日本一」 出品調査書

【各項目の記載は、地域再生協議会等へ提出の営農計画書等を元に記載願います】

1. 30年産の経営概要

(1) 氏名(集団名:代表者名)	
(2) 品種名	※複数の多収品種を作付けしている場合は、以下項目の記載も品種別に書き分けて下さい。
(3) 飼料用米作付面積(※1)	
(経営全体の全水稻作付面積)	
(全経営面積)	

※1 「営農計画書等」に記載された多収品種の面積(飼料用米種子面積を除く)

【参考】 (4) 前年産の多収性専用品種の全収穫量(※2)	
・10a当たりの収量(a)	
(地域の基準単収(b))	
(地域の作況指数(c))	
・基準単収との比較 ($a - (b \times c \div 100)$)	

※2 29年産で提出済の経営所得安定対策等実施要綱の様式第12-2号等の「飼料用米」欄の「玄米」「もみ(0.8の係数を乗じて玄米換算した重量)」の合計収量(飼料用米種子の収量を除く)

2. 30年産の収量向上の取組

(1) 品種の選択	
・選択した理由	
・種子入手方法	
・種子消毒	

(2) 施肥 (銘柄、成分、投入量(kg/10a))	
・土壌改良資材 (kg/10a)	
・基肥 (kg/10a)	
・追肥 (kg/10a)	

3. 30年産の生産コスト低減の取組

(1) 播種形式(移植・直播等)	
(2) 堆肥や安価な肥料の活用	
(3) 防除(除草、病害虫)	
(4) 輪作等の状況 (品目名)	(28年産) ○○(品目名)
※必要に応じて行を追加	(29年産) ○○(品目名)
	(30年産) 飼料用米
(5) 乾燥・調製 (ライスセンターやカントリーエレベーター等の共同施設利用等)	
(6) 規模拡大 (農地集積・団地化等)	

4. その他

・特記事項 (流通経費削減の取組の工夫や、 地域農業(地域JA、集落営農組合) との関わり等)	
--	--

添付資料:30年産の営農計画書の写し